

平和への祈り 人権への思い

ルワンダ人アーティスト

Mani Martin

ライブ&トークin宮崎

音楽がつなぐ、心と心。
ともに考え、行動し、より良い未来へ。

FEATURING

Mani Martin

ミュージシャン/アクティビスト/ストーリーテラー

アプロフェーションのアーティストとして
世界で高く評価されるとともに、
人権活動家として音楽とその声で変化を促し、
平和を訴え、人間の尊厳を守る活動を続けています。



人権の尊厳

すべての人が尊重され、
公平に、平等な権利を
持つ社会を目指します。



平等

差別をなくし、
誰もが包摂される
コミュニティを築きます。



正義

自由と責任を守り、
すべての人に公正な
交流が行き届く社会を実現します。



行動

知ることを行動へとつなげ、
より公正で平和な
世界をつくりまします。

日時



2026年
7月11日（土）

時間



14:00～17:00
（開場 13:30）

会場



宮崎国際大学
国際交流センター

Access MAP



お申し込みは
こちらから！



入場
無料

ともに考え、未来をつくろう。
ONE HUMAN FAMILY, ONE VOICE, ONE FUTURE.

平和、人権、そしてより良い未来のために。
あなたの一歩が、世界を変えます。

タイムスケジュール

13:30 開場

14:00 開会あいさつ・出演者紹介
Lloyd Walker

14:10 ライブパフォーマンス
出演者：Mani Martin
Lloyd Walker

15:40 休憩

15:50 トークセッション
「平和・人権・共生社会を考える」
出演者：Marie-Louise Towari
Mani Martin
Lloyd Walker

16:20 質疑応答

16:30 「NPO法人ルワンダの教育を考える会」
活動紹介
出演者との交流

16:50 閉会あいさつ
Lloyd Walker

17:00 閉会

講師・出演者プロフィール



● Mani Martin (マニ・マーティン)

ルワンダ虐殺後の時代において、音楽を通じて平和構築、癒やし、そして人々の結束に貢献してきたルワンダ出身のアーティスト。
これまで、アマニ・フェスティバル（コンゴ民主共和国）、サウティ・ザ・プサラ（ザンジバル）、バインバ国際フェスティバル（ウガンダ）、フリーダム・セレブレーション（アメリカ）など、世界各地の音楽祭に出演。グローバル・ゴールズ（SDGs）関連イベント、世界経済フォーラム（WEF）、Transform Africa、ジェノサイド（大量虐殺）防止に関する国際会議、アフリカ連合（AU）などの国際舞台でもパフォーマンスを行っている。日本では、広島平和記念資料館と長崎原爆資料館を訪問し、自然災害や原爆の被災者・被爆者へ音楽を届けると共に広島市立大学・長崎大学にて平和に関する講演活動も行った。
2013年には、アフリカの有望な音楽アーティストに贈られるPrix Découvertes RFIのトップ10候補に選出。また、Sauti Sol、Innoss'B、Soul Bangs、Eddy Kenzoなど、アフリカを代表するアーティストたちとのコラボレーションも実現している。さらに、BBCが選ぶ「Songs of All Time」で紹介されたほか、フランコフォニー競技大会（Jeux de la Francophonie）では銅メダルを受賞。ルワンダにおける芸術振興プログラム「Art Rwanda Ubuhanzi」のコーディネーターも務めた。
ダライ・ラマ・フェローとして平和構築活動に携わる一方、自身も豪雨災害による深刻な被災を経験しており、その体験をもとに制作された最新アルバム『Rebirth』（再生）では、癒やし、自己発見、そして「内なる平和」を見出す旅をテーマとしたメッセージを世界へ発信している。



● Marie-Louise Towari (永遠瑠 (とわり) マリールーズ)

ルワンダ出身。「NPO法人ルワンダの教育を考える会」（福島県福島市）代表。
1994年のルワンダ大虐殺（ジェノサイド）を経験し、幼い3人の子どもを連れて難民として避難。その後、日本へ移住する。紛争体験を通して、「教育こそが未来と平和を築く礎である」と強く実感し、平和・教育・命の大切さを伝える講演活動に取り組んでいる。2000年に「ルワンダの教育を考える会」を設立し、ルワンダ・ギガリ市に学校を開校。現在も教室増設や、図書館、給食調理場など、教育環境の向上支援を継続している。また、東日本大震災では福島県で被災し、原発事故を経験。避難所や仮設住宅でのボランティア活動にも従事した。2014年には、日本とルワンダの相互理解促進への貢献が認められ、外務大臣表彰を受賞。現在は大学での講義や全国各地で講演活動を通じて、平和教育、人権教育、国際理解教育に尽力している。福島県福島市在住。



● Lloyd Walker (ロイド・ウォーカー)

宮崎国際大学 副学長・地域連携センター長。
宮崎国際大学が掲げる「リベラル・アーツ教育」や「国際理解教育」の推進に携わり、学生のグローバルな視野の育成に尽力している。国際交流、多文化理解、地域連携活動を通して、地域社会と海外をつなぐ取り組みを積極的に展開しており、本イベントでは企画・運営を担当する。また、宮崎県内の中学校・高等学校との連携による国際理解・グローバル教育活動にも力を入れており、多様な文化や価値観を尊重する姿勢や、世界に目を向ける力を育む取り組みを行っている。

〈バンドメンバー〉

○柳田 裕輔 (ギター)



洗足学園音楽大学ジャズコース卒業。県内外でのライブ活動のほか、レコーディング、アーティストのサポートなど、幅広いジャンルで演奏・創作活動を行う。ジャズ・フュージョン・ポップスなど多様な音楽性を取り入れた表現を得意とし、豊かな感性と表現力で数多くのステージを支えている。

○今村 さつき (ピアノ)



東京音楽大学ピアノ科卒業。クラシックをはじめ、ジャズ、ポサノバ、ポップスなど幅広いジャンルで演奏活動を行う。国内外的アーティストのサポートやツアー参加など、多方面で活躍している。演奏活動に加え、ピアノや歌の指導、福祉施設での慈善活動にも取り組んでいる。音楽団体gift of music代表。

○諏訪園 哲哉 (ベース)



大学在学中にジャズ研究部でジャズベースを始める。ライブハウスなどで演奏経験を重ね、水谷浩章氏、松風鉦一氏ら多くのミュージシャンとの交流を通して研鑽を積む。現在は、ジャズオーケストラや県内の様々なバンドで活動するほか、自身のアレンジバンドによる演奏活動も行っている。

○井ノ上 智宏 (ドラム)



音楽スタジオ「ドラゴンヘッド」代表。ドラマー・ドラム講師として、県内外の様々なアーティストのサポート演奏活動を行い、ドラムコンテストや音楽・バンドコンテストでも多数受賞。現在は、楽器・音響レンタルやイベント運営などを通して、宮崎の音楽文化の発展に携わっている。

※プログラム・出演者は都合により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問合せ】宮崎国際大学 地域連携センター TEL: 0985-85-5931 (公開講座担当まで)

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405 (会場住所)

URL: <https://www.miu.ac.jp/>